



佐藤 未雲

株式会社スペース  
チャイナ代表

大型スーパー等でひととき  
にぎやかな声が響く方を見る  
と、中国語が飛び交っている  
という光景は今やすっかりお  
なじみである。わが社にも  
「中国語出来る方募集」とい  
う求人情報が日々各企業から  
寄せられる。

思えば5年前、琉球新報の  
「南風」に「中国人がやって来  
た」「ホスピタリティ」等13回  
にわたり寄稿をする機会があ  
った。うち「未来の選択」にこ  
のようなことを書いた。「中  
国人の富裕層が日本を訪れる  
ようになると中国語が堪能で  
あることが求人条件になっ  
ていくものと考えられる」。

手前みそのようだが、今では街中に中国語を話す観光客があふれている。昨年10月からは、

## 未来を見据えて

## 東風

円安に加えて免税商品拡大に  
魅力を感じた大勢の中国人が  
日本にやって来るようになって  
た。春節(旧正月)の期間だ  
けでも訪日中国人は45万人に  
上り、消費額は1140億円  
にもなったという。彼らは安  
心と安全を求め、日本製の目  
薬やハンドクリーム等の小さ  
い商品から電化製品に至るま  
で「爆買い」をしている。日  
本人が使っているものなら何  
でも買いたいという勢いだ。

一方、日本側もあらゆる業  
界がこれらの状況に応じて人  
材を探し求めている。弊社で  
も中国語、英語を学び、資格  
を取得して就職転職、そして  
給与アップが実現できた卒業  
生が数多くいる。学校に在籍  
しながら就職するというケー  
スも少なくない。今まさに業  
界は人手不足で、とりわけ中  
国語のできる人材が必要とさ  
れている。言葉の壁を無くす  
ためネイティブを採用して対  
応する所もあるが、言葉が通  
じる分ぶっさらばうに思える  
場面も多々ある。

1972年中国黒龍江省生まれ。20歳で家族と残留邦人  
の母の故郷沖縄へ引き揚げ。24歳で株式会社スペースチャ  
イナ設立。2008年専門学校スペースチャイナ外国語学  
院創立開校。3児の母。09年7月から12月まで「南風」執筆。

◆このコラムは「南風」執筆者OB・OGが担当します。